

特許抄録

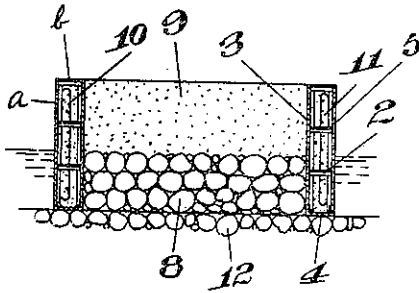
第 21 卷 第 3 號 昭和 10 年 3 月

水中場所詰工事法

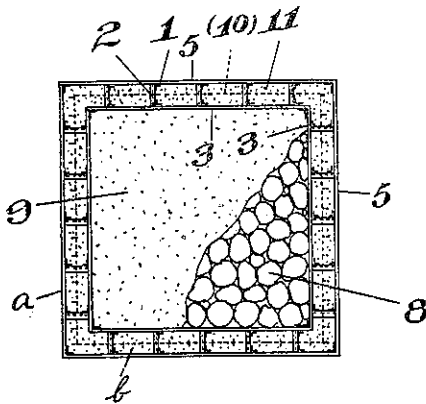
(特許第 108748 號, 出願 6-2-4)
(特許權者(發明者) 中島於菟太氏)

此の發明は内外二重壁と、其の間に在る底とより成る周壁を以て圍める無底の框を造り、之を水中に浮べ所要の場所に至らしめ、水を周壁中に入れ、其の重みに依り之を沈降し、捨石又は岩石より成る基礎の上に乗せ、框内に必要なる材料を入れ、然る後周壁中の水を排出し、之にコンクリートを充て凝固するや周壁と外壁を取去り又は取去らざる水中場所詰工事法である(第 1 圖, 第 2 圖參照)。

第 1 圖



第 2 圖



冷用アスファルト混合材の製造方法

(特許第 108780 號, 出願 8-8-29)
(發明者 奈良原輝雄氏)
(特許權者 日本ビチューマルス株式会社)

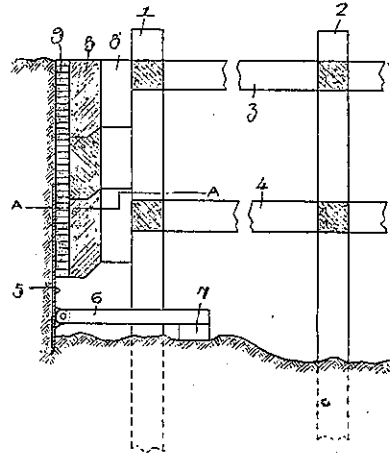
此の發明は碎石, 砂, 石粉等の 1 種又は 2 種以上の骨材の 150°C 内外に加熱せるものに、含水アスファルト系乳劑の少量を、撒布混合したる比較的水分を含有する混合材に、更に脱水アスファルト系材料を 150°C 内外に熔融し、攪拌混合したるものを冷却してアスファルト混合材を製造する方法であつて、之に依り粘弾性に富み、而も敷均し容易なる鋪装を簡易に得んとするものである。

地下建造物の滲透性擁壁構成方法

(特許第 108838 號, 出願 9-2-28)
(特許權者(發明者) 木田保進氏)

此の發明は特許第 105661 號發明(本誌第 20 卷第 6 號の本録參照)の改良に係り、該發明にあつては土壤より滲出する流體は土留擁壁を通して内架に滲出するの缺點があつたが、此の發明に於ては土留擁壁と土壤壁との間に、多孔性材料よりなる滲透性補助擁壁を接續せしむる事に依り、流體の滲出を防止せしめたものである(第 3 圖參照)。

第 3 圖

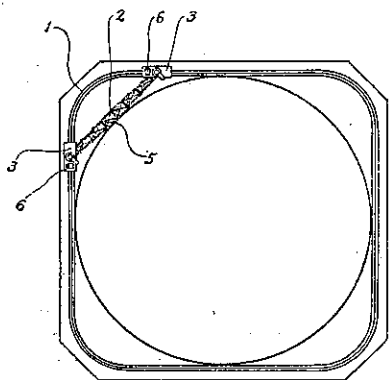


浚 掃 装 置

(特許第 108 892 號, 出願 8-5-18)
(特許權者 (發明者) 大塚 肇氏)

此の發明は沈澱槽の周邊地帯上を移行する浚掃部體 (5) と, 該部體の兩端部が, 槽の周圍に設けたる軌道 (1) に沿ひて運行すべくせる案内装置 (3) と, 案内装置の驅動装置 (6) とを具へたる圓からざる槽の周邊地帯のみの浚掃装置である (第 4 圖参照)。

第 4 圖



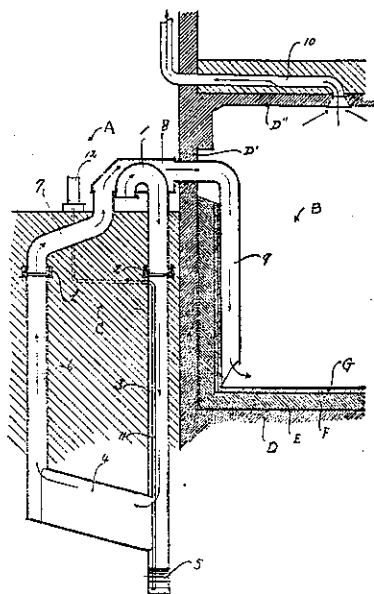
地下室の換氣装置

(特許第 108 915 號, 出願 9-2-2)
(特許權者 (發明者) 中澤基平氏)

此の發明は第 5 圖に示す如く地下室 (B) の外側に於て入氣管 (3) を地中深く埋没し, 該管と入氣口管 (1) との継手 (2) を地表近くに設け, 継手に入氣口管より入氣管に熱の傳はるを遮ぎる爲, アスファルト類を介在せしめ, 入氣管の最下部に水溜部 (5) を設け, 入氣管の下端に近く連絡して地中深く空氣冷却室 (4) を傾斜して布設し, 下方底部を水溜部に導き, 上端に還氣管 (6) を接続せしめて設け, 還氣管の地表に近き部分よりの上部 (7) はアスファルト類を介在せしめたる継手 (2') を以て連絡して別個のものとなし, 地上に露出せしめ外氣に接觸せしめて加熱部 (8) となし, 之より通氣管 (9) を以て地下室内の所要位置に導く地下室の換氣装置にして, 之に依り地中温より外氣高温なる季節に於て地温に近き地下室内へ, 低湿度の空氣を供給換

氣し, 室内の濕潤を緩和せんとするものである。

第 5 圖

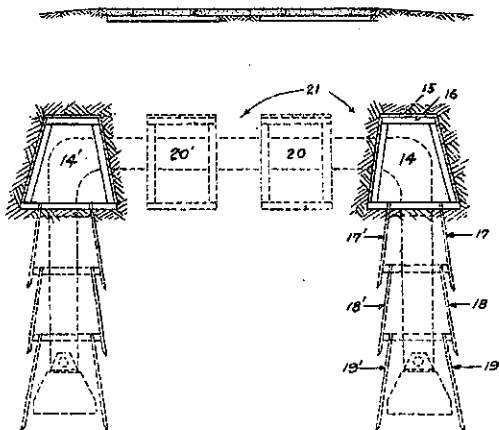


鐵骨ラーメン式地下鐵道建設施工法

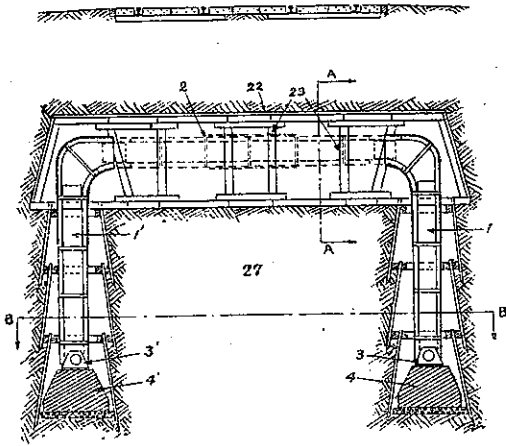
(特許第 109 000 號, 出願 9-3-26)
(特許權者 (發明者) 大井上前雄氏)

此の發明は線路に沿ふて適當の距離に線路を横斷し, 所要の幅を有する切開を造り, 側柱と梁桁との接續點に相當する處に, 線路方向に導坑 (14), (14') を穿

第 6 圖



第 7 圖



設し、基礎底に達する迄階段的に切下げて側柱(1)を建設し、次に兩導坑間を開通し桁梁を搬入して側柱に抵着する事を特徴とする鉄骨ラーメン式地下鐵道建設施工法であつて、之に依り路面交通を阻害せず、安全確實に地下鐵道を建設せんとするものである(第6圖, 第7圖参照)。

セメント製造法

(特許第 109 008 號, 出願 8-S-1)
發明者 此島竹吉氏外1名
特許權者 秩父セメント株式会社

此の發明は調合原料粉末を乾燥状態にて壓縮成形し、焼成するセメント製造方法であつて、之に依り品質の均一にして優良なるセメントを得んとするものである。

集積物搔取装置

(特許第 109 062 號, 出願 8-9-22)
特許權者(發明者) 大家 肇氏

此の發明は、搔取片(3)通路に平行にして略ぼそれと同形同大なる定置閉合案内路を連轉體が廻動するに伴つて、之よりリンク仕掛によつて垂下せる搔取片保持框(4)の先端の搔取片(3)が、その通路を廻動するやうになしたる集積物搔取装置であつて、之に依り既設棒節に附加容易ならしめんとするものである(第8圖, 第9圖参照)。

第 8 圖

第 9 圖

